

要 望 事 項	(1) 都営水道一元化除外町村における  一元化の実施等
------------------	------------------------------------

要望先 水 道 局

(福祉保健局)

(要 旨)

都営水道一元化計画から除外されている檜原村、島しょ町村の都営水道一元化を実現されたい。

(説 明)

都営水道一元化計画から除外された檜原村及び島しょ町村は、事業規模が小さく地理的・地形的特性から水道事業の効率的な経営には限界がある。

近年、耐塩素性病原生物であるクリプトスポリジウム等の問題をはじめ、ダイオキシン類や内分泌かく乱化学物質等の新しい除去対象が顕在化しており、良好な水質の供給はより困難な状況にある。単独水道では、水質管理、事故・災害時の対応の面で限界があり、水道事業を維持していくことが困難な状況になっている。

都営水道一元化市町では、すでに高水準での安定・安全な水の供給は確保され、おいしい水の供給へと高度化しており、同じ都民でありながら安定給水や安全な水の供給さえ受けられない格差がある。

このようなことから、高水準で安全な水の供給及び料金格差等を是正し、都営水道一元化市町と同様のサービスを受けられるよう、都営水道一元化が必要である。

要 望 事 項	(2) 湖面利用と湖畔周辺施設の整備促進
------------------	----------------------

要望先 水 道 局

(交 通 局)

(要 旨)

水源池である奥多摩湖と多摩川を都民の憩いの場として活用するため、湖面利用と湖畔周辺施設の整備促進を図りたい。

(説 明)

奥多摩湖は、全域が秩父多摩甲斐国立公園に含まれる自然にも恵まれた都民のレクリエーションの場として役割を果たしているとともに、奥多摩観光の要として重要な位置を占めている。

今後、団塊世代の余暇時間の増大により、中高年世代の来訪者の増加が予想されるが、それに対応した施設の整備が不十分である。より多くの人々に親しまれる水源林への取り組みとして、森林セラピーロードとして認定されている「奥多摩湖いこいの道」については、来訪者へのサービスの向上のために、途中にトイレの増設や1.2km全線を歩かなくても、短時間でいこいの道を散策できるための湖横断用吊り橋などを設置し、より多くの人々が自然を散策し易くするための施設整備が必要である。